

## 感性を育てる夏の公益事業

### 自由に作品を創造し楽しむ「おやこ de アート」

今年は、7月29日・30日、コロナ禍で中止していた「おやこdeアート」を開催することができました。チラシには、おやこdeアートは、「自由にものを作り出す楽しさをおやこで体験できる場所です。作品のテーマや課題はありません。」とあります。そこで、ねらいについて、改めて原先生に尋ね以下の説明をしていただきました。



自由創作は、答えがあるものに取り組むのではなく、自分で答えを探すプロセスがあります。デザインされたものではなく、探究するものがアート。自分で選び、自分で作る創作の時間は、素材の質感や様々な色彩を感じながら、思考や感性がフル回転していく時間です。

バーチャルや情報が溢れて検索したらすぐに答えがわかる時代だが、自分以外の人や物を【リアル】に見る経験でしか多様性を知ることはできません。いろんな人がいろんなことやっていると色々な作品があります。その【リアルな体験】を【おやこで】共有して欲しい。

何作ろう？これなんだ？どうなってるの？手に持った画材との対話の中で、こんな風にしたらどうか？次はこうしてみようか。できた！自分自身との対話を積み重ねていく。正確さや効率で判断されない多様な価値観に触れながら、様々な対話の中で自分のやりたいことを探究する時間です。おやこdeアートはそんな時間を体験できます！

当日、大きな模造紙いっぱい絵を描いた子がいました。好きな絵の具を使い思い切り力強く筆を走らせ、時に考え込みながら描く姿が印象的でした。粘土や段ボールを使い対話しながら作品を作る笑顔の親子もいました。最初は何を作っているかわからない子も、少しすると自分から進んで作品を作っていました。「すごく楽しかった」という声も聞こえました。

保護者からは、「テーマのないのが良かったです。このイベントで新しい遊びに気づいたので家でもやってみようと思います」という声もいただき、参加者みんなが自由に作品を創造し楽しんでいたことから、感性を育てる「おやこdeアート」のねらいを再認識しました。